14. 信頼 Trust

深い信頼のなかにあれば、状況はどうあろうとも、信頼のその質があなたの生を変容してくれます。

ミラレパがチベットの彼のマスターのところに行ったとき、彼はあまりにも控え目で、あまりにも純粋で、あまりにも真正だったために、ほかの弟子たちが嫉妬し始めた。彼が後継者になるのは確実だった。
そこで彼らは彼を殺そうとした。

ミラレパはまるで少しも人を疑わなかった。ある日、ほかの弟子たちが彼に言った。「もしお前がほんとうにマスターを信じていたら、崖から飛び降りることができるだろう？ もしそこに信頼があったら、それはなんでも
そこでミラレパは一瞬の間もためらわずに跳んだ。弟子たちは駆け降りた……それはおよそ三千フィートの深さはある谷だった。彼らは散乱した骨を見つけるために降りて行った。だが彼はそこに蓮華座(れんげざ)で

彼は目を開けて言った。「あなた方は正しい――――信頼は命を救う」
彼らはこれはなにか偶然の一致にちがいないと思った。そこである日、家が火事で燃えているときに、彼に言った。「もしお前がマスターを愛し、信頼していたら、火のなかにだって入れるさ」彼はなかで取り残されてい

ある日、彼らは旅をしていて、川を渡ることになった。そこで彼らはミラレパに言った。「お前は舟に乗る必要はない。お前には非常に大きな信頼があるんだ――――お前は水の上を歩けるさ」そして彼は歩いた。

マスターが彼を見たのはそれが初めてだった。彼は言った。「お前はなにをやっている？ ありえないことだ」
ところがミラレパは言った。「マスター、私はあなたの力でこれをやっているのです」
さあ、マスターは考えた。「もし私の名前と力で、無学な、愚かな男にこれをやらせることができたのなら……自分でためしてみたことは一度もなかった」そこで彼はためしてみた。彼は溺れた。それ以来彼の消息は

光明を得ていないマスターですら、もしあなたが深い信頼のなかにいたら、あなたの生に革命をもたらすことができる。そしてその逆もまた真実だ。光明を得たマスターですら、どんな役にも立たないかもしれない。それは

THE BELOVED, Vol.1, pp126-127

Revision #4
Created 3 October 2024 07:01:32 by ゆう
Updated 23 October 2024 07:36:11 by ゆう